

# 明治ホールディングス株式会社 IR説明会

2024年3月15日

コーポレートコミュニケーション部長 田中 正司

# 本日の内容

1. 基本情報

2. 事業戦略

3. 株主還元

# 100年にわたるイノベーションの歴史



## 「栄養報国」



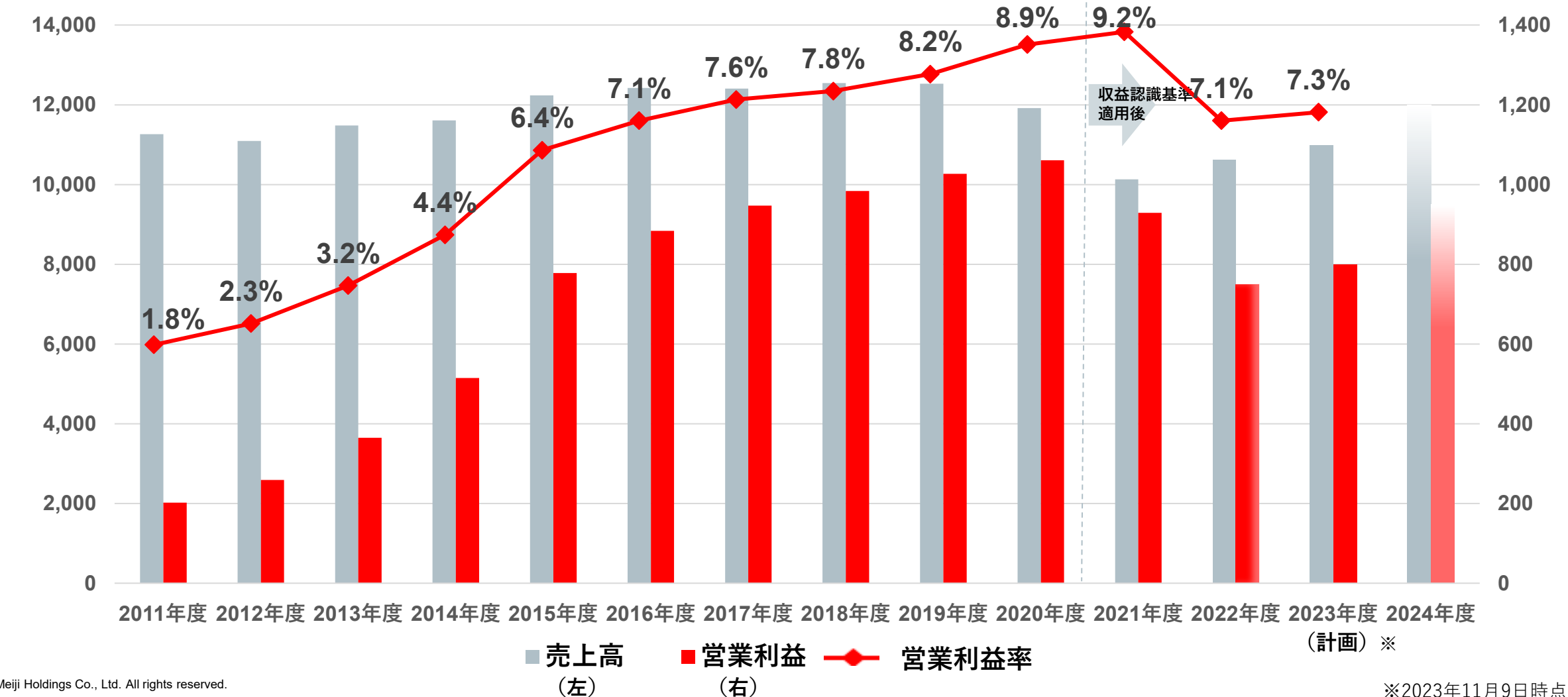
創業者  
相馬 半治

1926		ミルクチョコレート			
1928		牛乳			
1923		育児用粉乳			
1946		感染症薬			

# 連結業績の推移

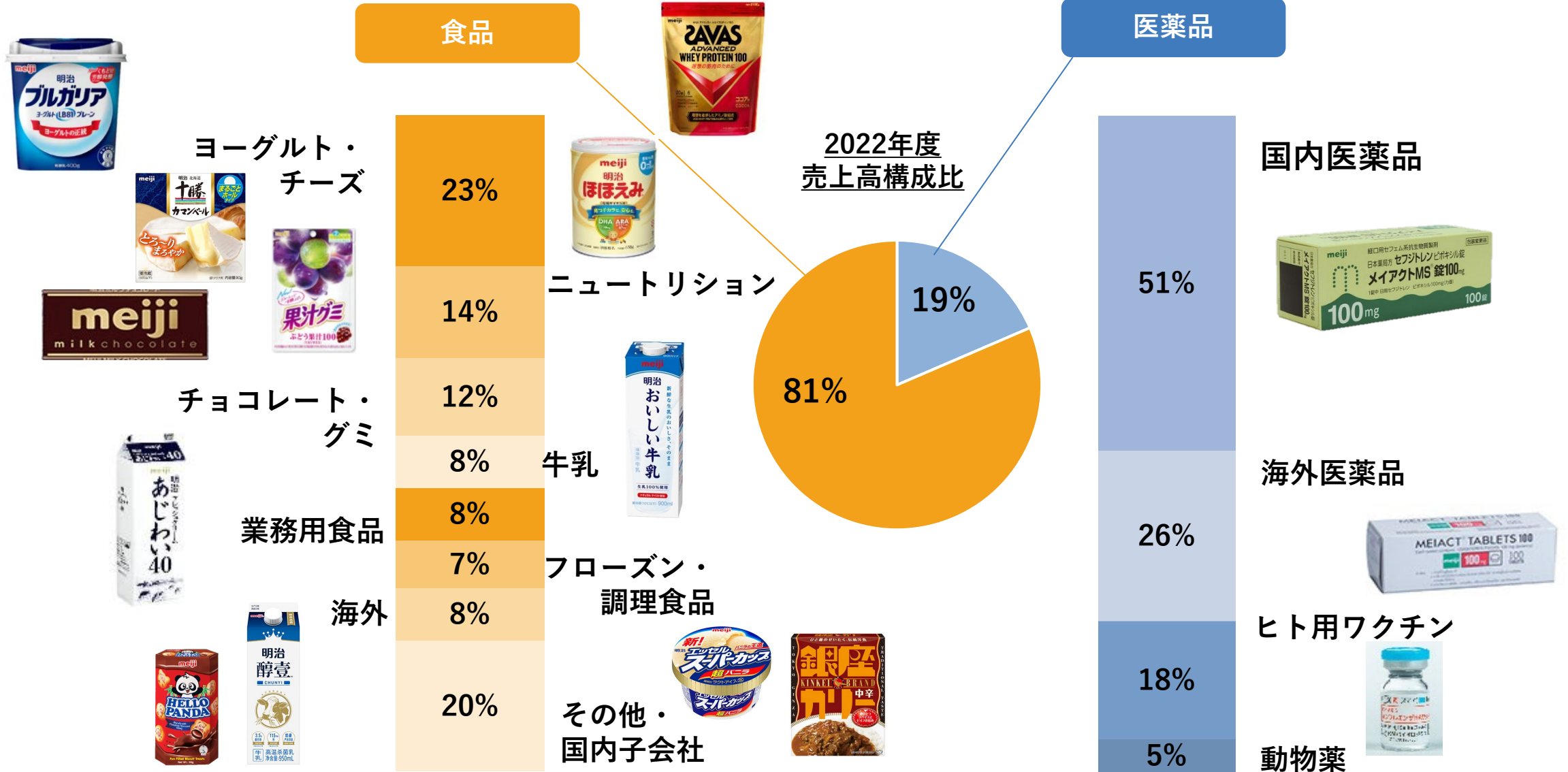
## ● 経営統合以降、収益性を大きく向上

(単位：億円)



※2023年11月9日時点

# 事業ポートフォリオ



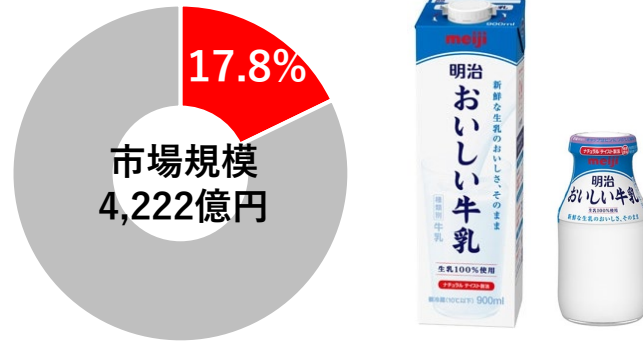
# 国内市場シェアNo.1製品（食品）

## ヨーグルト



※シェア（2022年度）出典：インテージ社SRI+

## 牛乳



※シェア（2022年度）出典：インテージ社SRI+

## 粉ミルク



※シェア（2022年度）出典：インテージ社SRI+

## チョコレート



※シェア（2022年度）出典：インテージ社SRI+

## プロテイン（粉末・顆粒）



※シェア（2022年度）出典：当社調べ

## 高齢者食・流動食（病院栄養）



※シェア（2022年度）出典：当社調べ

# 国内市場シェアNo.1製品（医薬品）

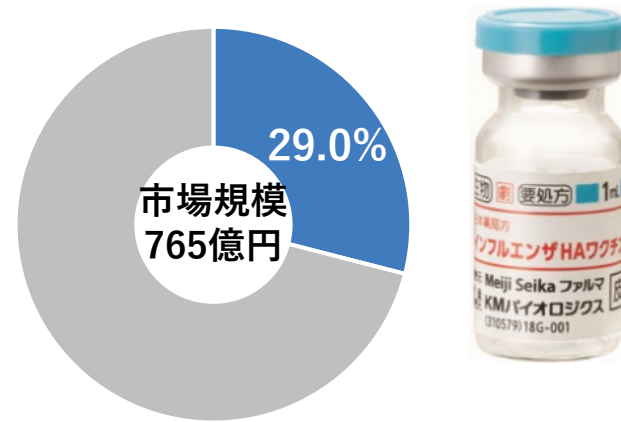
## 全身性抗菌剤

細菌による感染症の治療や手術時の感染予防に使われ、医療現場には欠かせない薬剤



Copyright©2023IQVIA.  
出典：  
IQVIA医薬品市場統計  
JPM2023年3月MATをもとに作成。  
市場の範囲は当社の定義による  
※無断転載禁止

## インフルエンザワクチン



Copyright©2023IQVIA.  
出典：  
IQVIA医薬品市場統計  
JPM2023年3月MATをもとに作成。  
市場の範囲は当社の定義による  
※無断転載禁止

# 本日の内容

1. 基本情報

2. 事業戦略

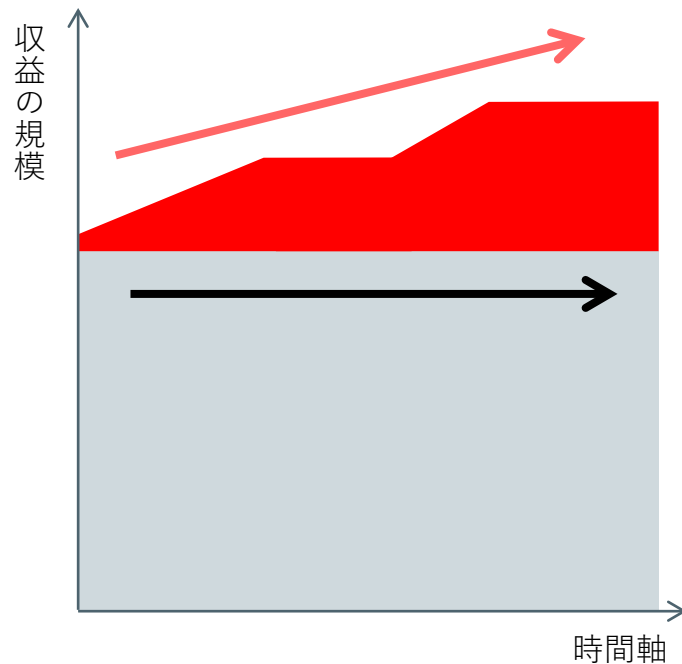
3. 株主還元



# 2026中期経営計画（2024～2026年度）では、 市場創造力と安定したキャッシュ創出力を強化する

明治グループの持続的な成長モデル

安定した収益基盤の上に、新しい市場を切り拓いた事業の先行者利益を上乗せする



## ■ 市場創造力

### ・基盤となる強み

研究開発・技術力、マーケティング力 など

### ・課題

長期視点で成長する市場を狙い、機能性ヨーグルトに次ぐ業績けん引役を早期に築く

## ■ 安定したキャッシュ創出力

### ・基盤となる強み

ブランド力、付加価値の高い製品ポートフォリオ、商品ライフを長期化する知財や技術 など

### ・課題

外部環境や競争環境の変化に応じて、資本効率向上の取り組みを一層進める

# 女性の健康

## －フェムニケアフード立ち上げ

フェムテック

Femtech

フェムケア

Femcare

この言葉をご存じでしょうか？

# フェムテック・フェムケア市場

## フェムテック (Femtech)

**Female** × **Technology** の造語

女性特有の健康課題をテクノロジーで解決できる商品・サービスのこと

## フェムケア (Femcare)

デジタルなテクノロジーではない製品は「Femcare (フェムケア)」と呼ばれる

例) 月経カップ・吸収ショーツなど

日本のフェムテック・フェムケア市場は…

**22年度約701億円**

19年度比+22%の伸長

# フェムテック・フェムケアへの関心が高まっている

- メディア (TV、雑誌)



NHK総合「生理のおじさんとその娘」、テレビ東京「テレ東フェムテック委員会」、anan特集「私たちのフェムニケア」他

- メディア (SNS)



今まで話題にしづらい風潮があった「生理」や「女性特有の健康課題」についての情報を、著名人が明るく発信

- 流通関係者



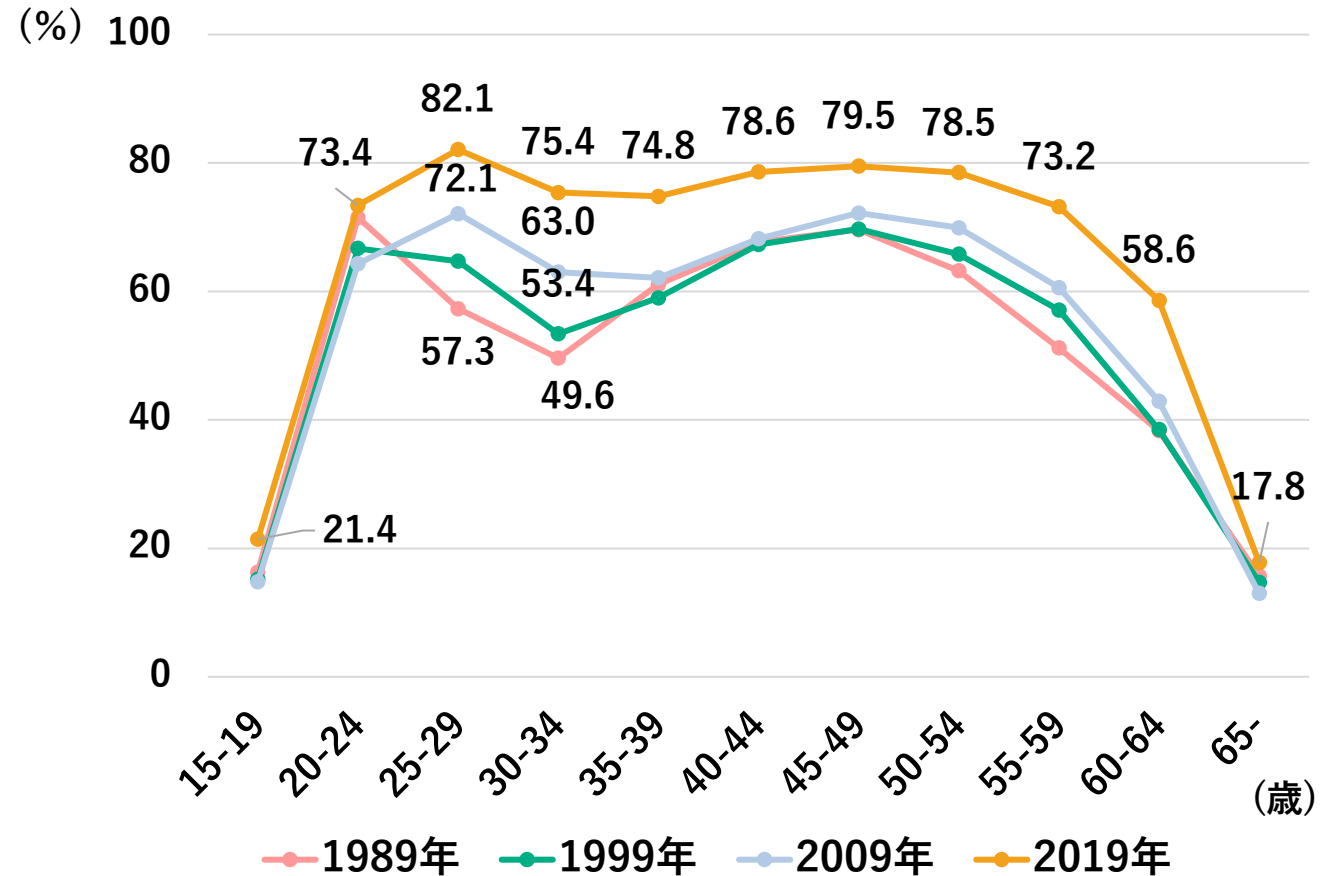
小売業関係者向けの展示会でのアンケートで、「フェムケア・フェムテック」が興味を持ったコーナーが第2位に

# 女性の社会進出が加速している

## ■ 女性の社会進出の主な歴史

昭和	1972年	勤労婦人福祉法 制定・施行
	1981年	女子差別撤廃条約 発効
	1985年	勤労婦人福祉法が <b>男女雇用機会均等法</b> に改正施行
平成	2015年	<b>女性活躍推進法</b> 制定・施行
令和	2019年	女性活躍推進法 一部改正

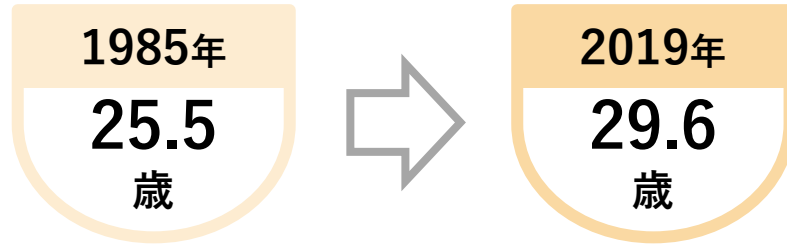
## ■ 女性の年齢階級別就業率の推移



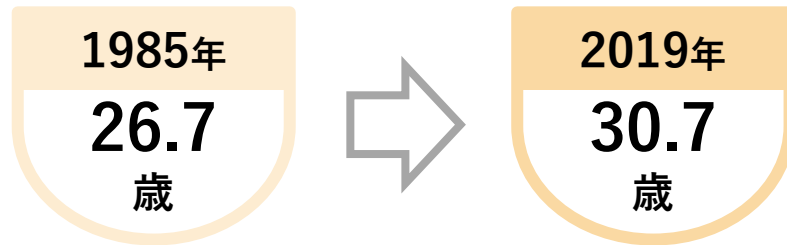
参考：総務省統計局「労働力調査」

# 女性の社会進出加速に伴って女性の健康状態も変化している

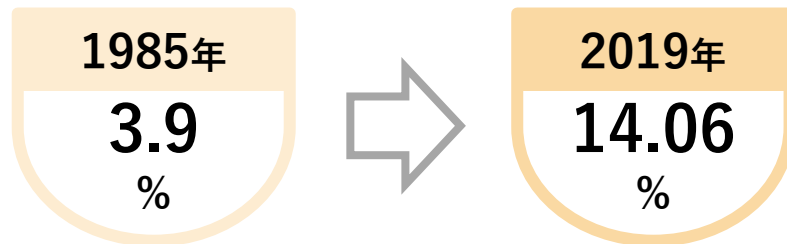
- 婚姻年齢の推移（女性）



- 第一子の出産年齢



- 50歳時の未婚割合（女性）



晩婚化・遅産化が加速  
(未婚化・未産化)

少子化が加速

女性の健康状態も変化

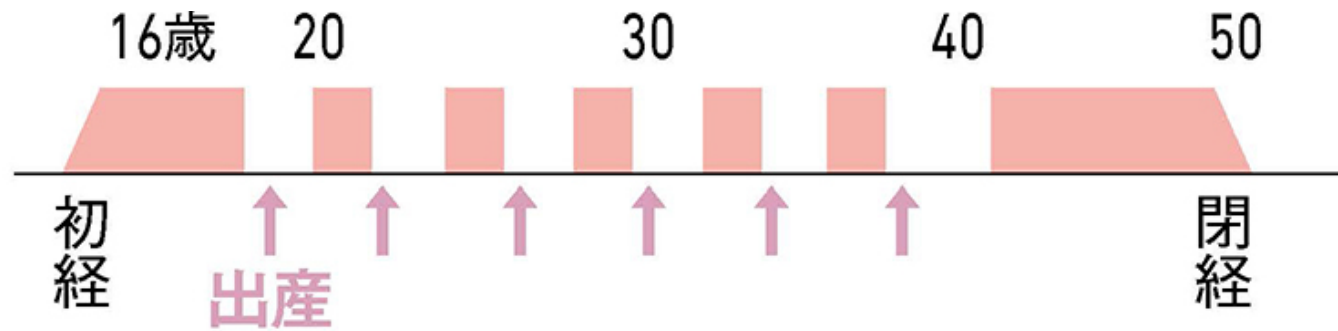
# 生理の増加に伴い、女性特有の健康課題に悩む方が増えている

## 50回 → 450回<sup>※</sup>

※回 = 期間

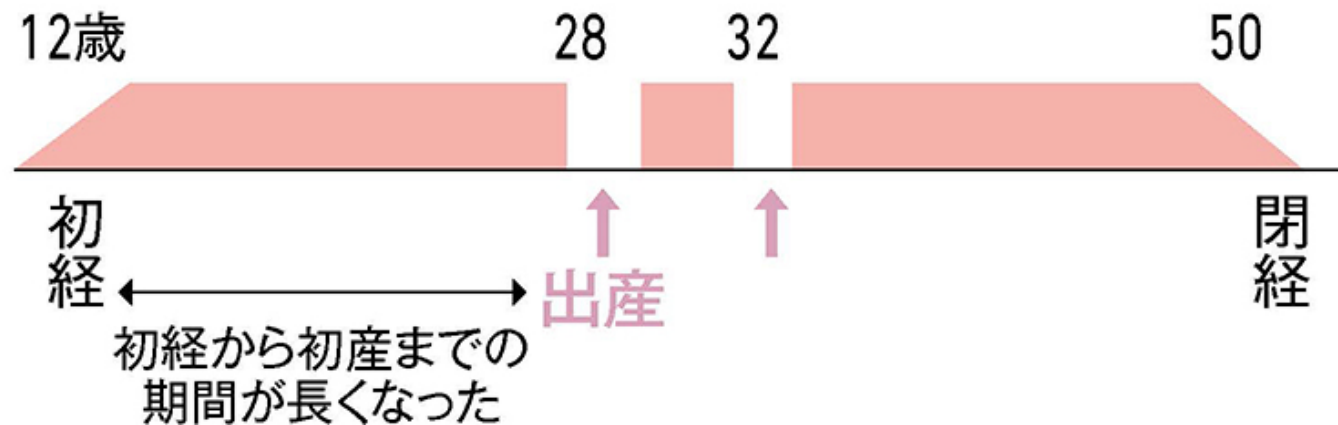
昔

生涯の生理回数は  
**約50回**



現代

生涯の生理回数は  
**約450回**

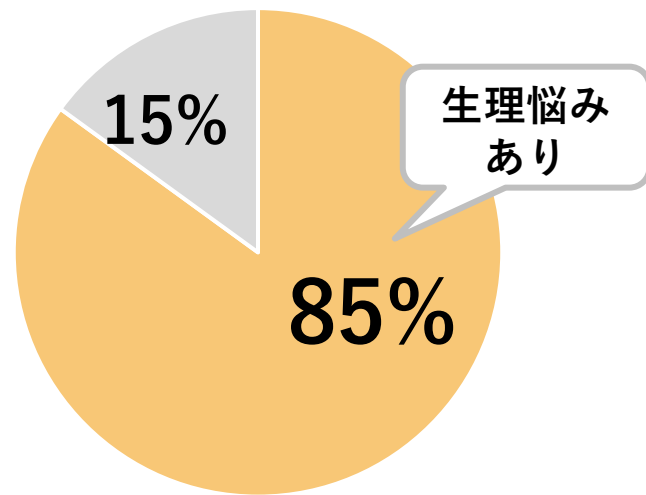




# 8割以上の現代女性が生理前と生理中に、様々な悩みを抱えている

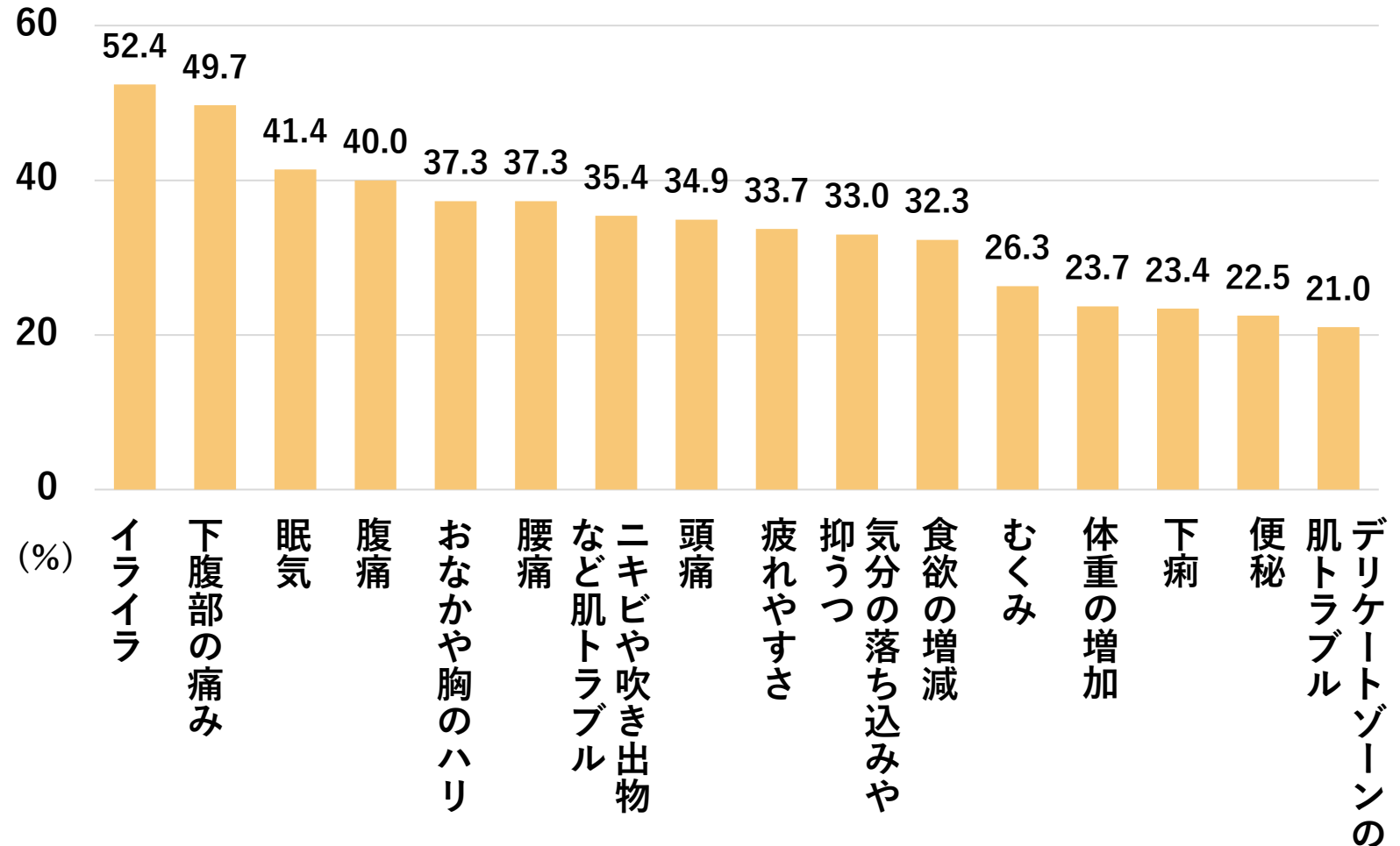
※ PMS（月経前症候群）…生理の1週間前から症状が現れ、生理が来ると消える症状

- 生理前と生理中の症状で悩んだ経験
- 生理前と生理中に感じる症状（月経随伴症状）



■ 悩みがある ■ ない

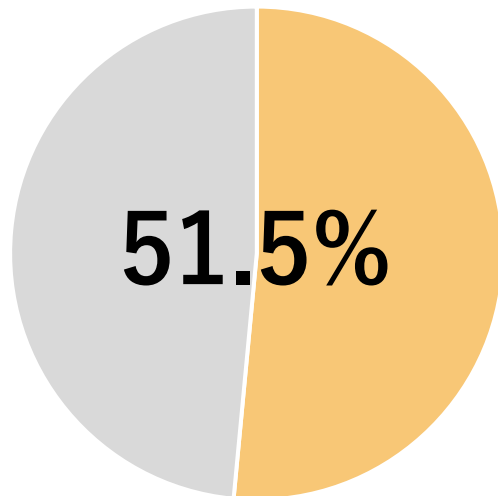
明治調べ：2021年（N数：4,418人）



明治調べ：2021年（N数：4,418人）

# 「女性特有の健康課題」が働く女性や社会に及ぼす影響

- 働く女性の約半数が女性特有の健康課題で職場で困ったことがある



参考：経済産業省調べ

- 月経随伴症状による、社会的経済負担（年間）

内訳	推計額
月経随伴症状によるプレゼンティーズム*による経済損失	5,516億円
月経随伴症状によって活動を休むことによる所得損失	5,190億円
月経随伴症状による直接コスト（通院費・診療費・処方箋・OTC医薬品）	1,207億円
<b>総計</b>	<b>11,913億円</b>

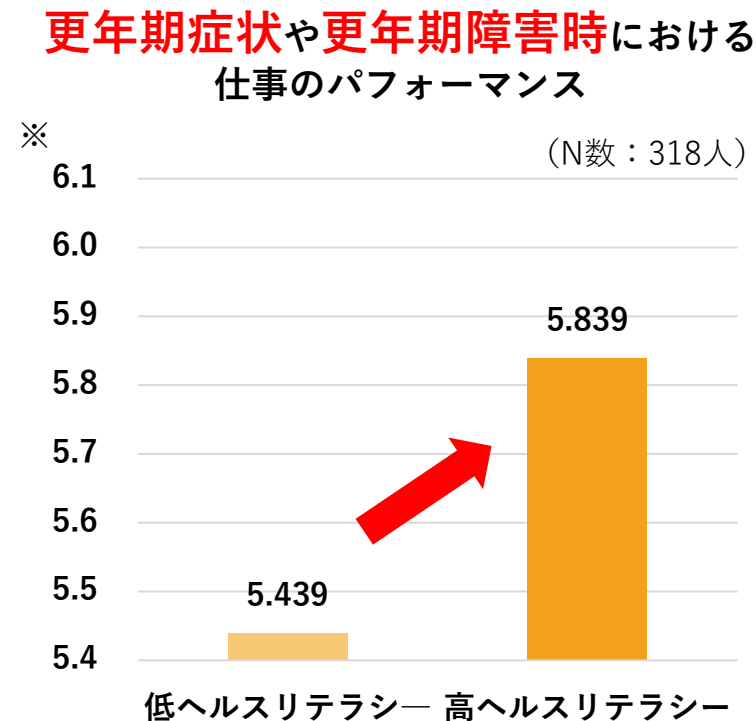
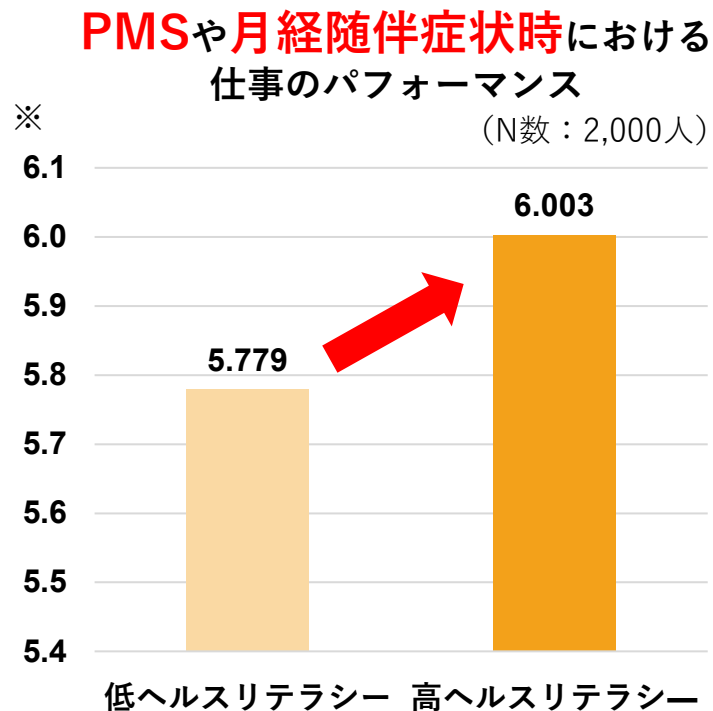
\* プレゼンティーズム（疾病就業）

何らかの病気や症状を抱えながら働き、集中力や意欲といったパフォーマンスや生産性が低下している状態のこと

明治調べ：21年9月（N数：1,000人）

# 「女性特有の健康課題」の解決を阻んでいるものは何か

- 女性自身の健康課題に対する知識不足
- 男性の知識不足とサポート不足



※単位は元気な時の仕事の出来を10とした時の、各症状自覚時の仕事のパフォーマンスを0～10点で評価

日本医療政策機構「働く女性の健康増進調査2018」を元に明治にて作成

# 明治が長年研究している $\alpha$ ラクトアルブミン

## ■ 乳幼児ミルクの栄養設計



母乳で育つ乳児と同じ発育を目指し、  
一つ一つの成分を母乳に近づける取り組み

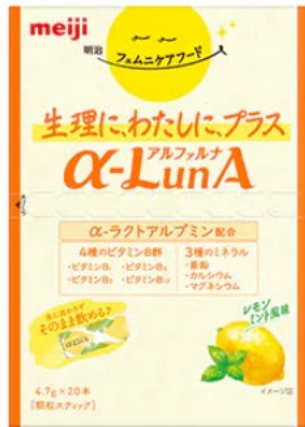
参考：中村 吉孝. Milk Science.72.92-93.2023





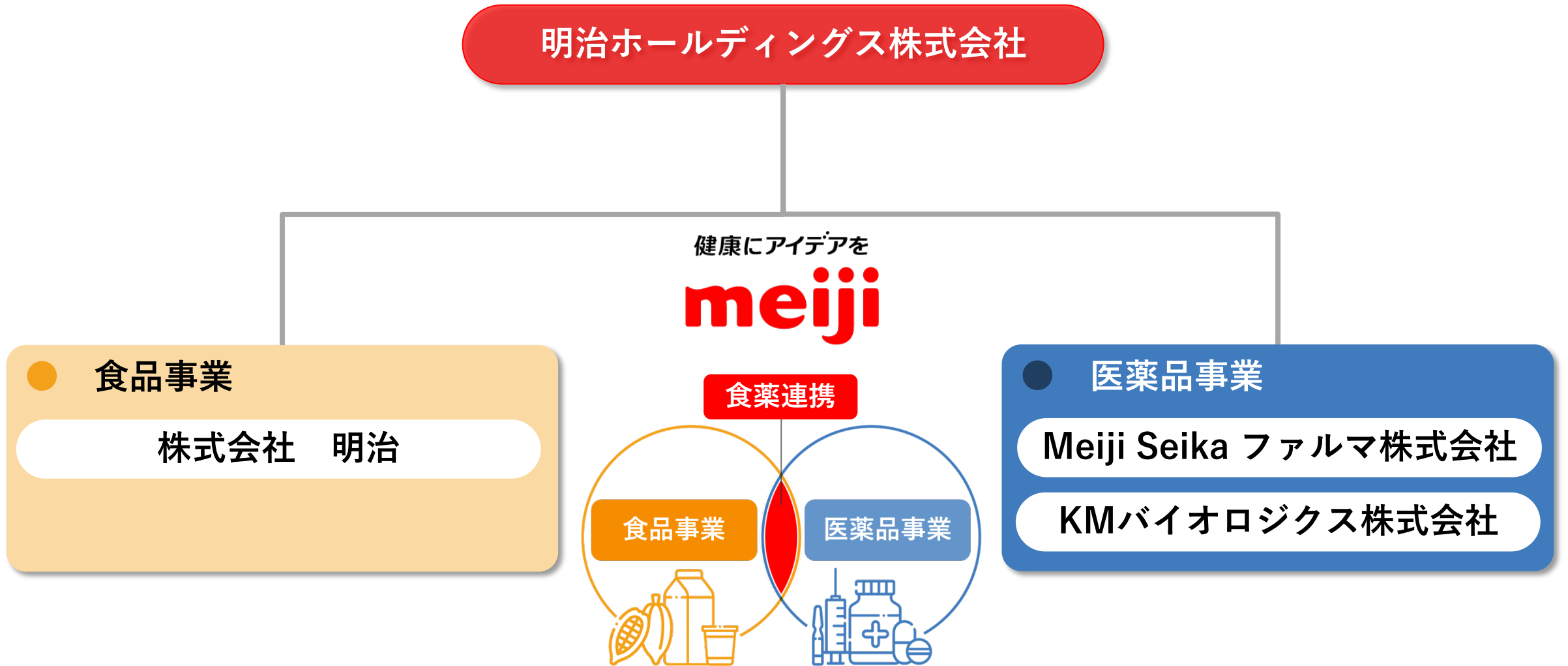
明治 フェムニケアフード

# アルファルナ α-LunA



# 感染症の脅威への対応・貢献

# 明治ホールディングスの事業概要





# 明治グループ医薬品事業の沿革

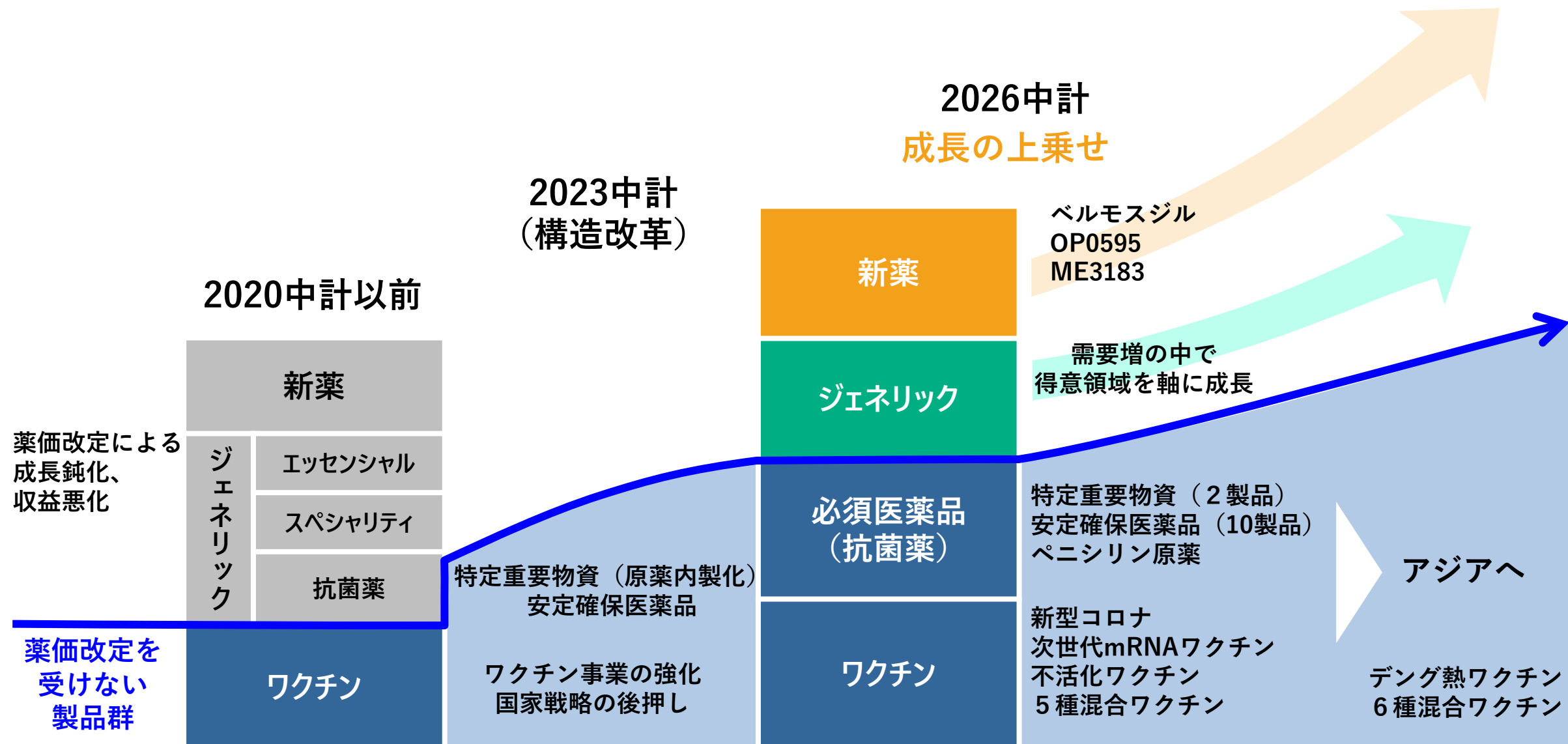
明治グループは、終戦直後から抗菌薬とワクチンの製造供給を行い、現在まで感染症治療に貢献してきました。

1945	(昭和20)	◇天然痘ワクチンの製造を開始
1946	(昭和21)	○ペニシリンの製造開始、薬品事業を始める
1950	(昭和25)	○抗生物質「ストレプトマイシン明治」発売
1954	(昭和29)	○抗生物質「サイクリン明治」発売
1958	(昭和33)	○抗生物質「カナマイシン明治」発売
1971	(昭和46)	○岐阜工場開設
1972	(昭和47)	◇「インフルエンザワクチン」発売
1974	(昭和49)	○PT.メイジ・インドネシア設立
1975	(昭和50)	○抗生物質「パニマイシン」発売
1979	(昭和54)	○タイ・メイジ設立
1981	(昭和56)	○抗生物質「ホスミシン」発売
1985	(昭和60)	◇菊地研究所開設
1988	(昭和63)	◇遺伝子組換えB型肝炎ワクチン「ビームゲン」発売
1989	(平成1)	○小田原工場生産開始
1990	(平成2)	○日本初のMRSA感染症治療薬「ハベカシン」発売
1994	(平成6)	○抗生物質「メイアクト」発売
2006	(平成18)	○抗生物質「スルバシリン」発売
2012	(平成24)	◇小児用4種混合ワクチン「クアトロバック」発売
2015	(平成27)	○抗生物質「タゾピペ明治」発売
2017	(平成29)	◇合志事業所を開設





# 医薬品事業の中期経営計画における成長戦略 (感染症領域に特長のある企業グループの競争優位性)

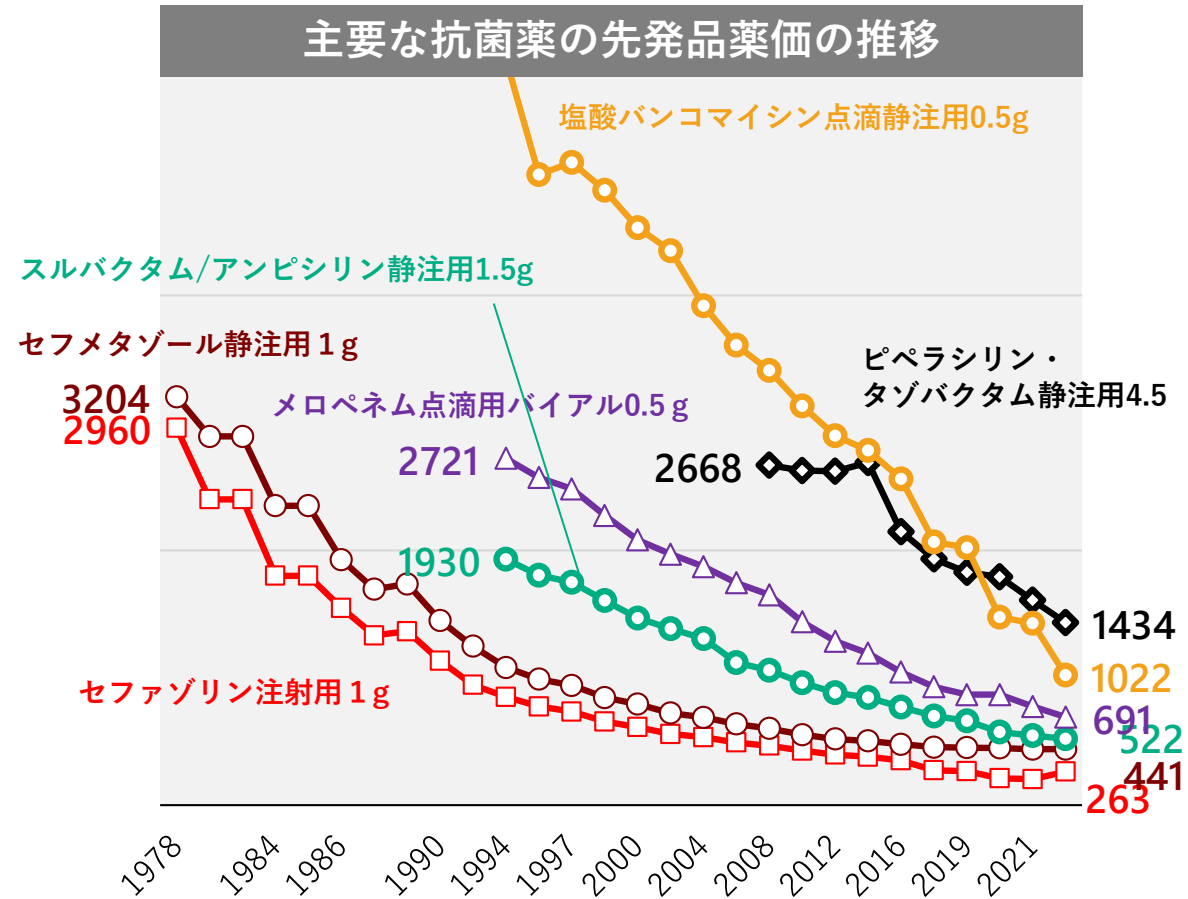


# 抗菌薬

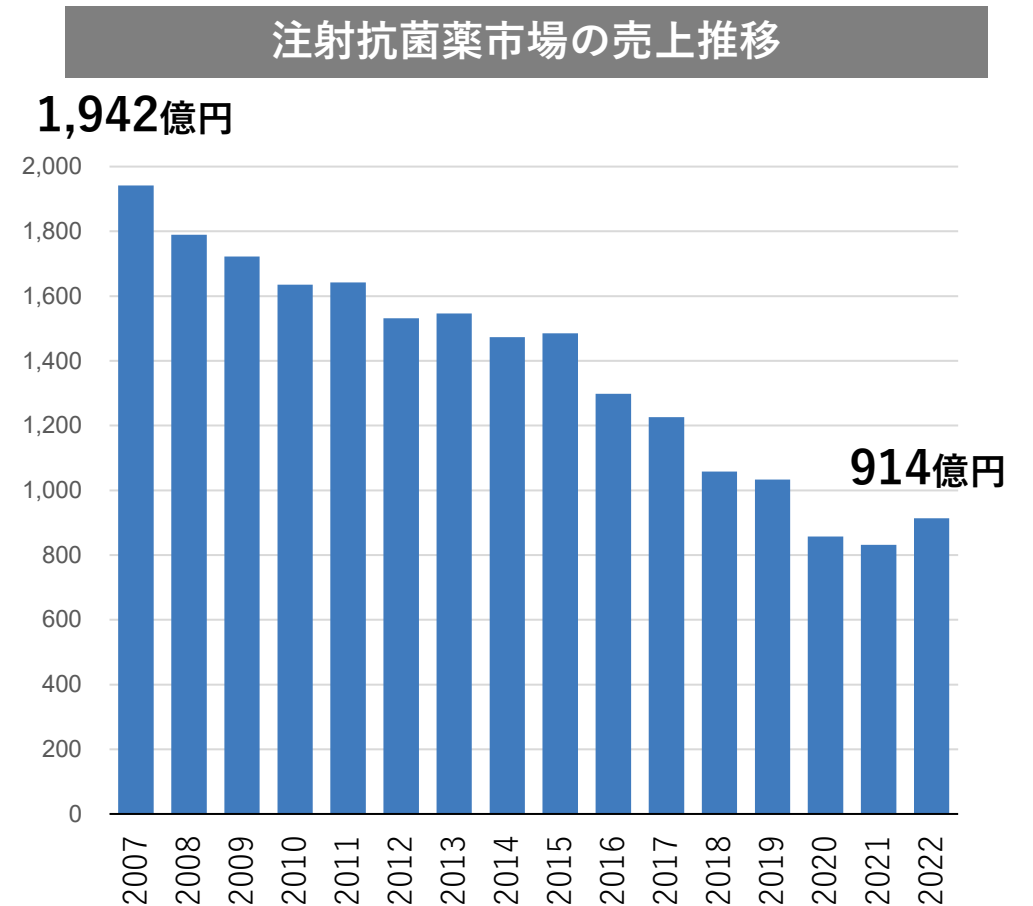
# 薬価改定の市場インパクト

度重なる薬価改定とジェネリックの使用促進により15年で注射抗菌薬の市場規模は半減しました

主要な抗菌薬の先発品薬価の推移



注射抗菌薬市場の売上推移

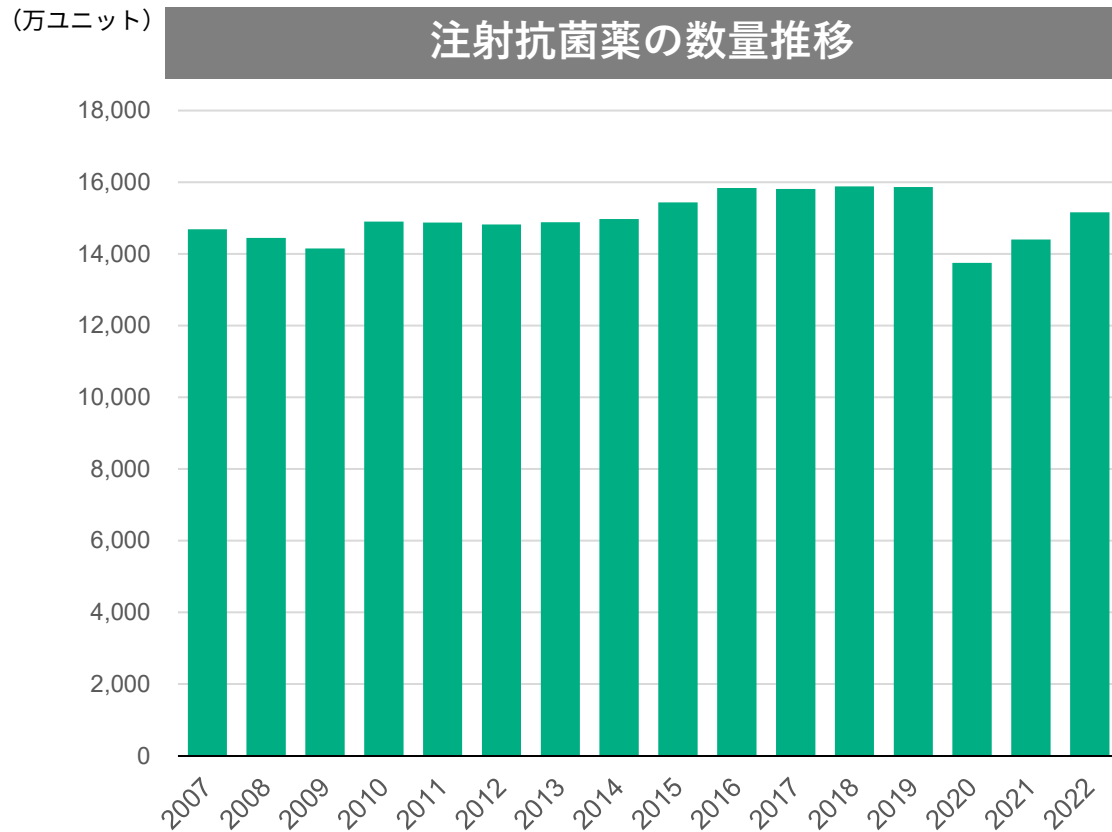


Copyright © 2024 IQVIA. 無断転載禁止

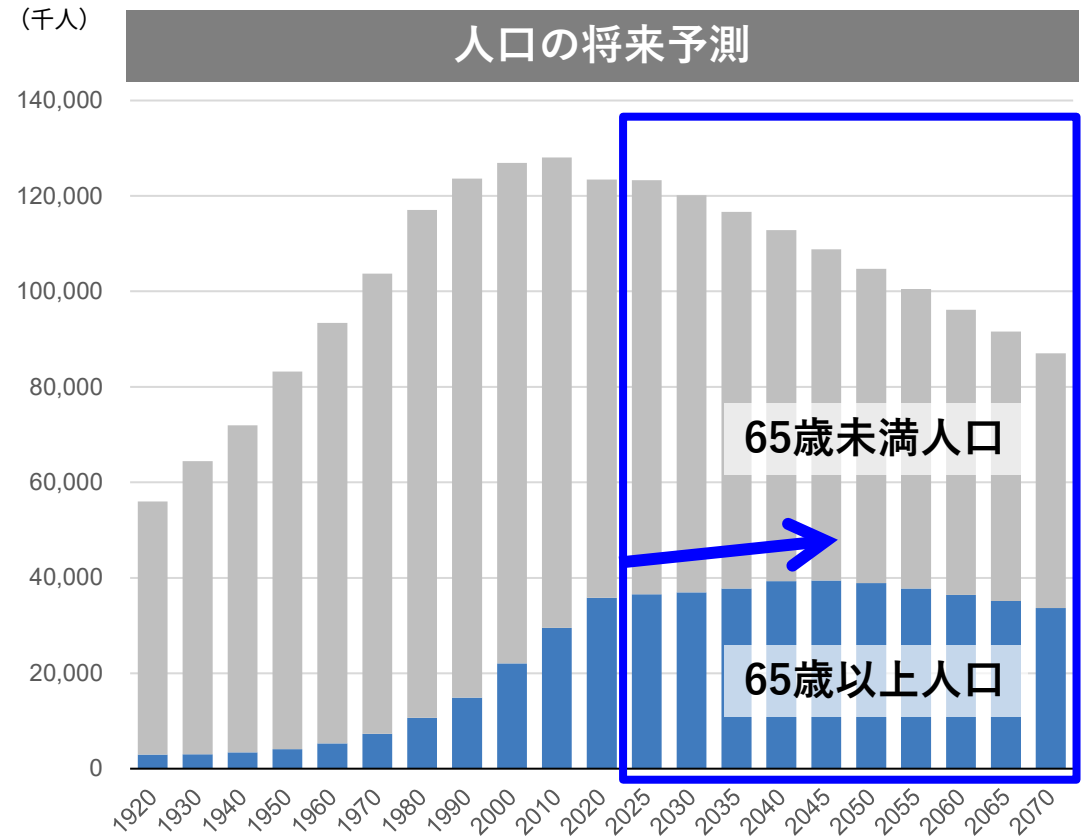
出典：IQVIA 医薬品市場統計 JPM 2008年3月MAT～2023年3月MATをもとに自社分析

# 今後も続く注射抗菌薬の需要

売上規模は半減しましたが、数量は減少しておらず、  
2050年まで続く高齢者人口の増加に伴い、注射抗菌薬の需要は今後も増えていくことが見込まれます



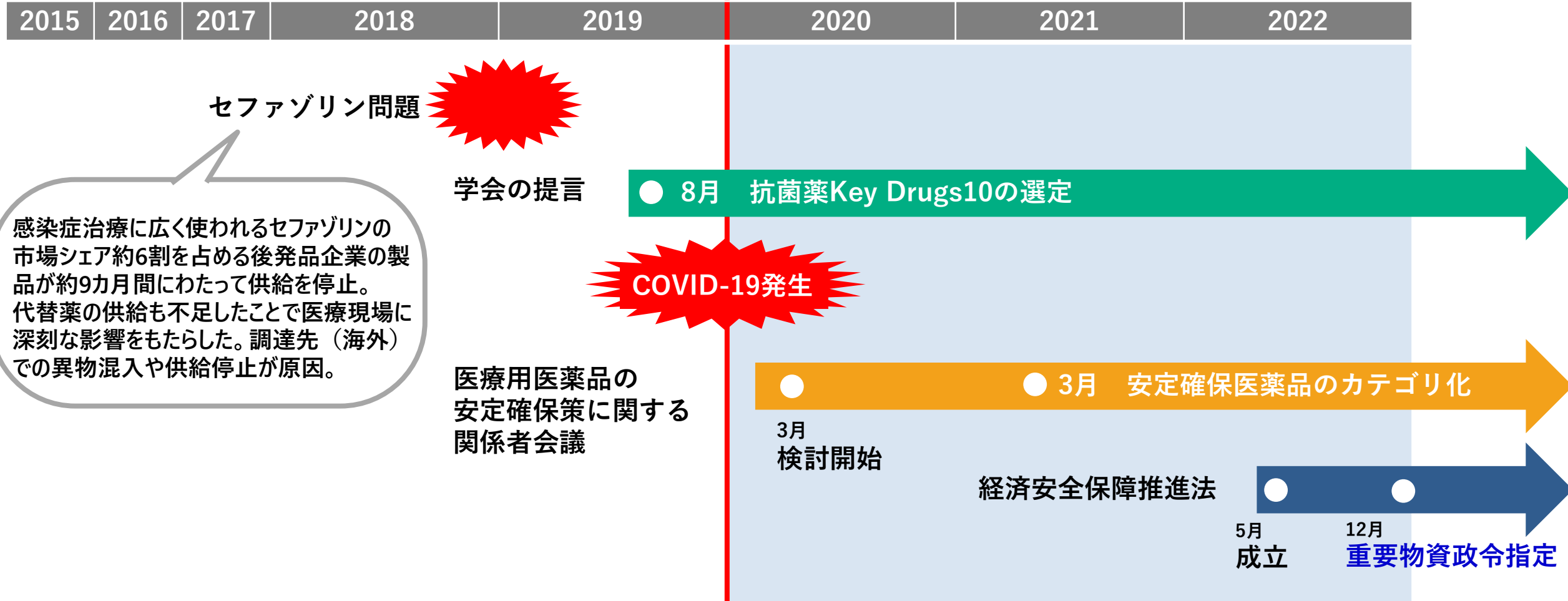
Copyright © 2024 IQVIA. 無断転載禁止  
出典：IQVIA 医薬品市場統計 JPM 2008年3月MAT～2023年3月MATをもとに自社分析



国立社会保障・人口問題研究所  
日本の将来推計人口（令和5年推計）出生中位死亡中位をもとに作成

# 抗菌薬の医薬品としての位置づけが激変

セファゾリン問題による医療現場の混乱、コロナ禍における海外からの物流の分断などの経験から抗菌薬の安定供給が重要視され、特に海外への依存度が高い抗菌薬の原薬については、経済安全保障推進法の下、国産化を推進することとされました



# 安定供給が不可欠な抗菌薬

安定供給が不可欠な抗菌薬に対しては、薬価の再評価や生産体制の整備などが求められるようになりました

Key Drugs (10成分)	
1	スルバクタム/アンピシリン
2	タゾバクタム/ピペラシリン
3	セファゾリン
4	セフメタゾール
5	メロペネム
6	バンコマイシン
7	ペニシリンG
8	セフトリアキソン
9	セフェピム
10	レボフロキサシン

2019年8月に日本感染症学会などの4学会が「抗菌薬の安定供給に向けた4学会の提言」として、抗菌薬の安定供給が不可欠なKey Drug 10剤を選定し、そのリストを厚生労働大臣に提出

安定確保医薬品：カテゴリA (6成分)
スルバクタム/アンピシリン
タゾバクタム/ピペラシリン
セファゾリン
セフメタゾール
メロペネム
バンコマイシン

日本医学会傘下の主たる学会の各専門領域において、医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保が求められる医薬品として提案されたもの

**カテゴリA：最も優先して取組を行う安定確保医薬品**

カテゴリB：優先して取組を行う安定確保医薬品

カテゴリC：安定確保医薬品

特定重要物資 (4成分)
スルバクタム/アンピシリン
タゾバクタム/ピペラシリン
セファゾリン
セフメタゾール

詳細は次のスライド

2016年に基礎的医薬品の薬価の下支えルールが設けられ、2022年の薬価制度ルールから安定確保医薬品カテゴリAでこのルールの要件を満たすものは薬価が下がらなくなりました。

# 特定重要物資とMeijiの役割

経済安全保障推進法では、**国民の生存に必要不可欠**な又は広く国民生活・経済活動が依拠している重要な物資について、特定重要物資として指定し、**その安定供給確保に取り組む民間事業者等を支援する**ことを通じて、特定重要物資のサプライチェーンの強靱化を図ることとしています

## 11分野の特定重要物資と所管省庁

経済産業省	半導体	3,686億円
	蓄電池	3,316億円
	重要鉱物	1,058億円
	航空機の部品	417億円
	工作機械・産業用ロボット	416億円
	永久磁石	253億円
	天然ガス	236億円
	クラウドプログラム	200億円
国土交通省	船舶の部品	63億円
<b>厚生労働省</b>	<b>抗菌性物質製剤</b>	<b>553億円</b>
農林水産省	肥料	160億円

※数字は22年度第2次補正予算での計上額

## 特定重要物資4成分の海外比率（推計）

	出発原料	最終原薬
<b>スルバクタム</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>
<b>アンピシリン</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>
<b>タゾバクタム</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>
<b>ピペラシリン</b>	<b>100%</b>	<b>80%</b>
<b>セファゾリン</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>
<b>セフメタゾール</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>

Meiji Seika ファルマ岐阜工場が  
抗菌性物質製剤の安定供給確保事  
業者として認定を受けました。

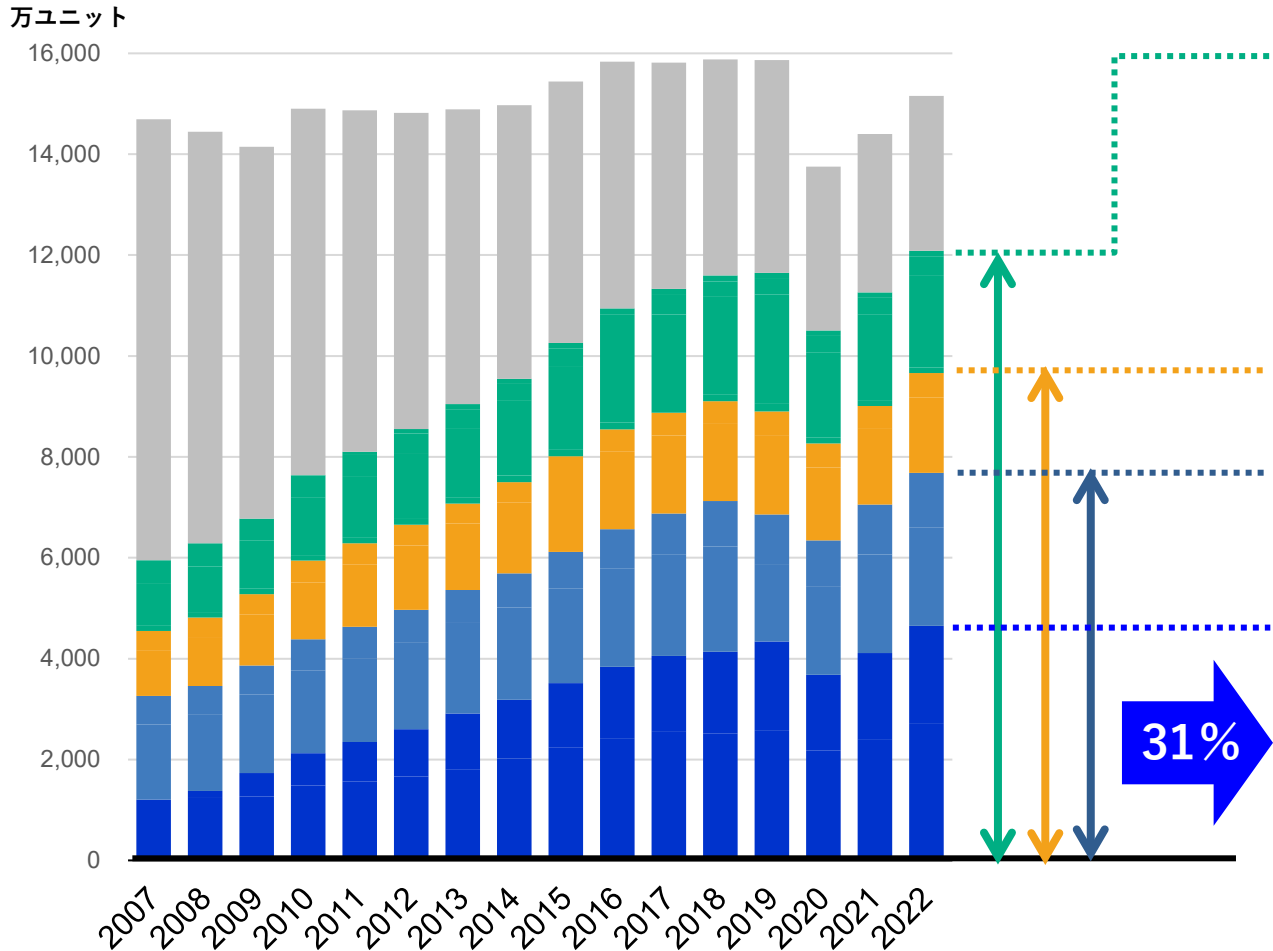
(左表) 令和4年12月20日 日本経済新聞一部改変

(右表) 抗菌薬の経済安全保障推進法 特定重要物資指定と安定供給に向けた提言 (日本化学療法学会) より一部抜粋

# 安定供給が不可欠な抗菌薬の市場構成比

適正使用の推進や高齢者の増加により安定供給が不可欠な抗菌薬の使用頻度が年々高まっています

### 注射抗菌薬（51成分）の数量推移



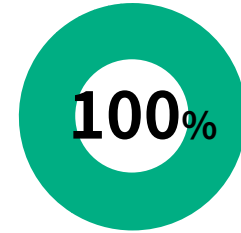
Key Drugs 10成分 80%

安定確保医薬品  
カテゴリA 6成分 64%

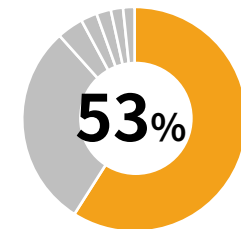
特定重要物資 4成分 51%

Meiji Seika ファルマが  
原薬の国内生産を請け負う  
ペニシリン2成分数量

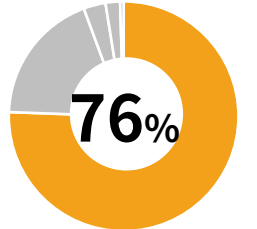
ペニシリンG



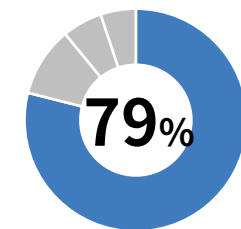
メロペネム



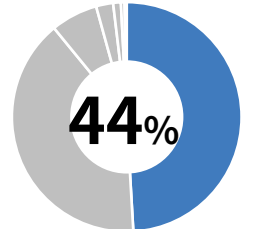
バンコマイシン



スルバクタム/  
アンピシリン



タゾバクタム/  
ピペラシリン

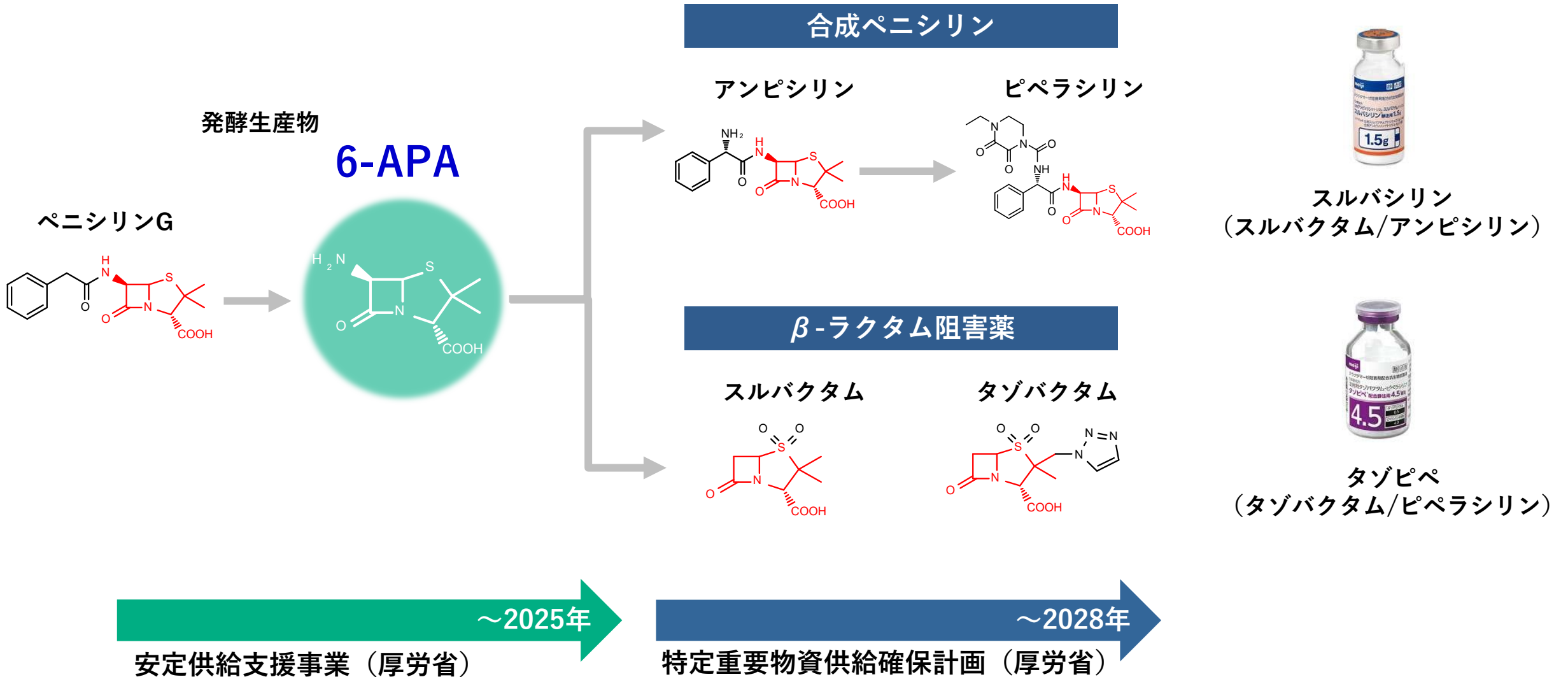


Meiji Seika ファルマの製品シェア



# 「抗菌性物質製剤の安定供給にかかる計画」の認定を受けて

ペニシリンの出発原料と最終原薬の国内生産の実現に向けて取り組んでいます



# 岐阜工場は特定重要物資の国内生産拠点へ

政府による財政支援を受け、岐阜工場は、生産設備強化の上、日本で必要とされるペニシリン系注射抗菌薬の原薬・出発原料（6APA）の生産工場になります



岐阜工場



165 k L発酵槽

ペニシリン生産に適した条件を有する  
国内唯一の事業場

- ①生産菌株
- ②大型培養設備
- ③大規模培養技術
- ④ペニシリン原薬製造の経験者
- ⑤豊富な水資源
- ⑥大型用役・廃水処理設備

(年度)	2021	2022	2023	2024	2025
	実験棟構築			実生産設備構築	実製造
		実証プラント構築			

# Key Drugsを含め74品目の抗菌薬ラインアップ

KeyDrugs10（下表ピンク）以外にも幅広いラインアップと多くのシングルサプライ製品(下表青色)を有し、Meijiの安定供給なくして、日本の医療が成り立たない状況にあります

## 注射

	成分	シェア
ペニシリン系	ベンジルペニシリン	100%
	アンピシリン	100%
	アンピシリン・クロキサシリン	100%
	アンピシリン・スルバクタム	79%
	タゾバクタム・ピペラシリン	44%
セフェム系	セフミノクスナトリウム	100%
カルバペネム系	メロペネム	53%
	ビアペネム	100%
グリコペプチド系	バンコマイシン	76%
	テイコプラニン	25%
ホスホマイシン系	ホスホマイシン	60%
アミノグリコシド系	ストレプトマイシン	100%
	カナマイシン	100%
	ジベカシン	100%
	アミカシン	16%
	アルベカシン	41%
オキサゾリジノン系	リネゾリド	34%
ニューキノロン系	シプロフロキサシン	55%

## 内用

	成分	シェア
ペニシリン系	アモキシシリン（細粒）	71%
	アンピシリン	100%
	アンピシリン・クロキサシリン	100%
セフェム系	セフジトレンピボキシル（細粒）	82%
	セフジトレンピボキシル（錠）	75%
カルバペネム系	テビペネム	100%
グリコペプチド系	バンコマイシン	63%
ホスホマイシン系	ホスホマイシン（ドライシロップ）	—
	ホスホマイシン（錠）	—
アミノグリコシド系	カナマイシン	100%
オキサゾリジノン系	リネゾリド	30%
ニューキノロン系	プルリフロキサシン	100%
	トスフロキサシン（細粒）	43%
抗結核薬	サイクロセリン	100%
	エチオナミド	100%

## 外用

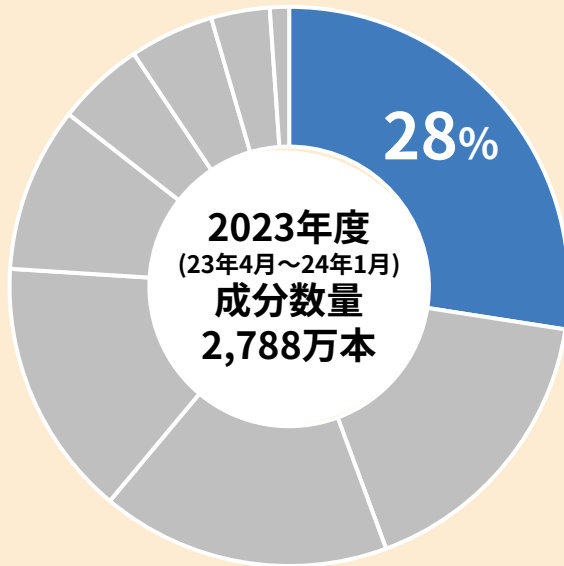
	成分	シェア
アミノグリコシド系	ジベカシン（点眼液）	100%
ホスホマイシン系	ホスホマイシン（耳科用）	100%

# ワクチン

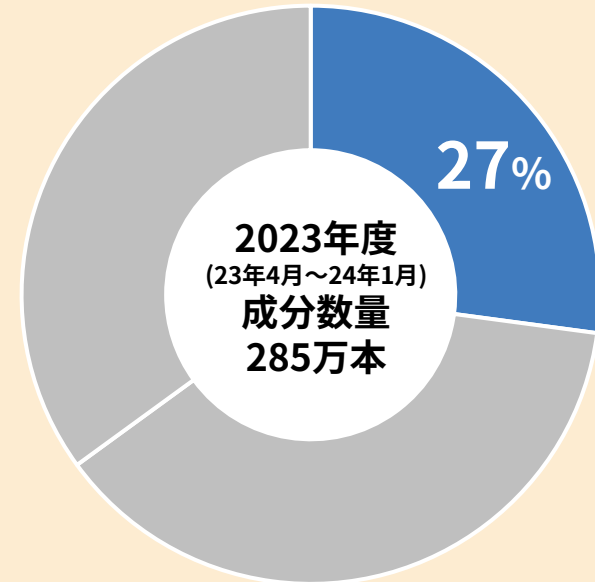
# 我が国における主要ワクチンの数量シェア推移

ワクチンのトップサプライヤーとして安定供給の重責を担っています

## インフルエンザワクチン



## 日本脳炎ワクチン



# ワクチンの開発パイプライン

2024年は、5種混合ワクチンの4月からの定期接種導入が予定されており、新型コロナウイルスワクチンの2製品も今年の秋冬接種に向けて取り組みを強化しています

開発コード（一般名）	予定適応症	開発段階
5種混合ワクチン 「クイントバック水性懸濁注射用」 (KD-370)	百日せき菌、ジフテリア菌、破傷風菌、ポリオウイルス、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型による感染症の予防	2023年9月承認取得
新型コロナウイルス次世代mRNAワクチン 「コスタイベ筋注用」 (ARCT-154) (ARCT-2301)	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防	(ARCT-154) 2023年11月承認取得 (ARCT-2301) 国内Phase III
新型コロナウイルス不活化ワクチン (KD-414)	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防	変異株対応 小児Phase III
デング熱ワクチン (KD-382)	デング熱の予防	Phase I（海外）
6種混合ワクチン (KD2-396)	百日せき菌、ジフテリア菌、破傷風菌、ポリオウイルス、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型、B型肝炎ウイルスによる感染症の予防	Phase I

世界初

# 次世代mRNAワクチン（レプリコン）コストイベ筋注用の特長

世界で最初に承認された次世代mRNAワクチン（レプリコンワクチン）として、今年の秋冬接種での実用化を目指しています

## ➤ 有効性、安全性、利便性で優れた特長を有する

- 海外で実施された起源株（武漢株）を対象とした大規模臨床試験(1.6万例)において、高い有効性と良好な安全性を確認
- 変異株（オミクロン株）を対象とした国内第Ⅲ相試験において、コミナティより高い抗体価の上昇と長い持続性（6か月）が確認された。

# 国内第III相試験（追加免疫）：接種後6か月後までの中和抗体価の推移

ARCT-154は既存のmRNAワクチンに比べて抗体価が高く、持続性に優れています

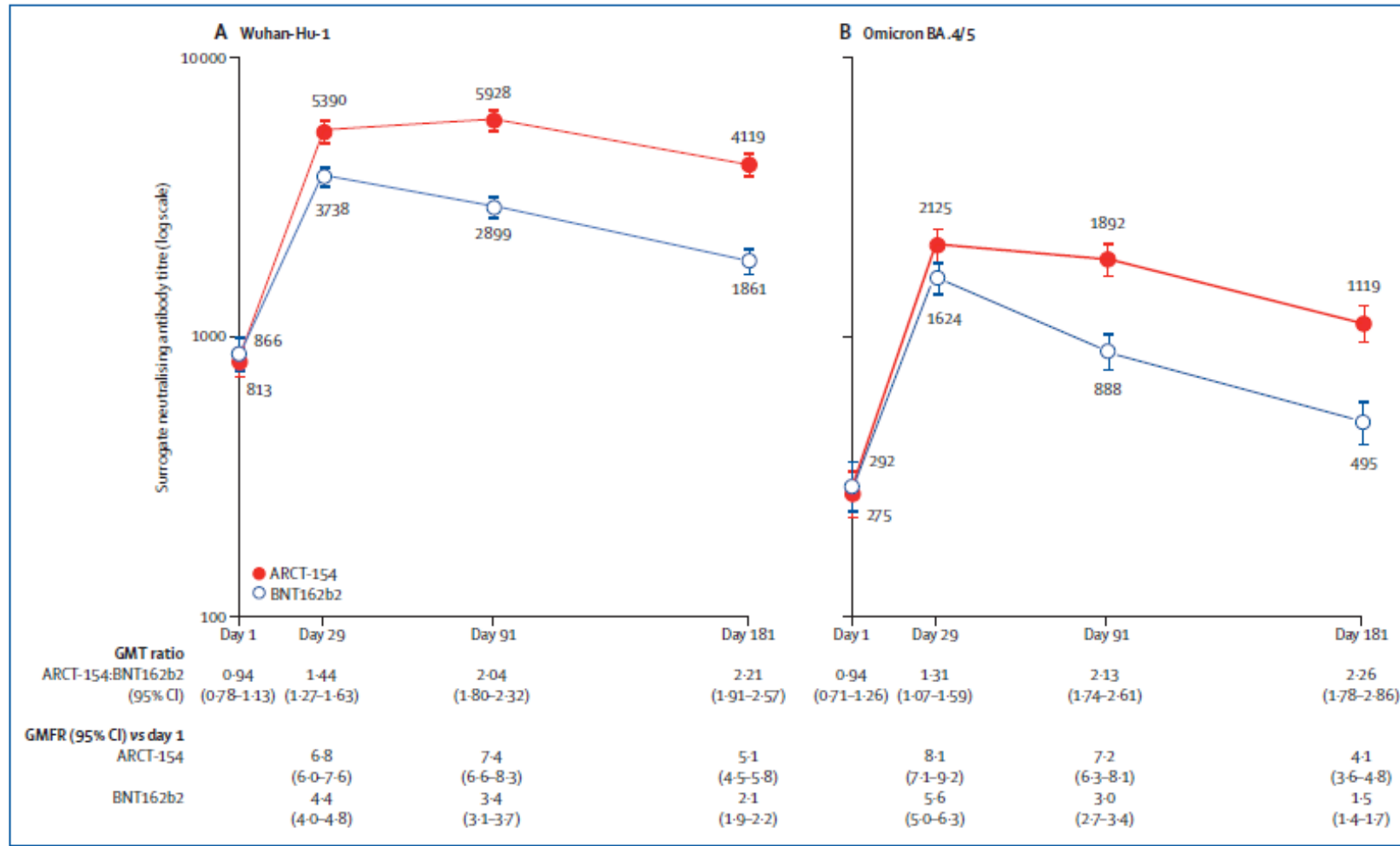
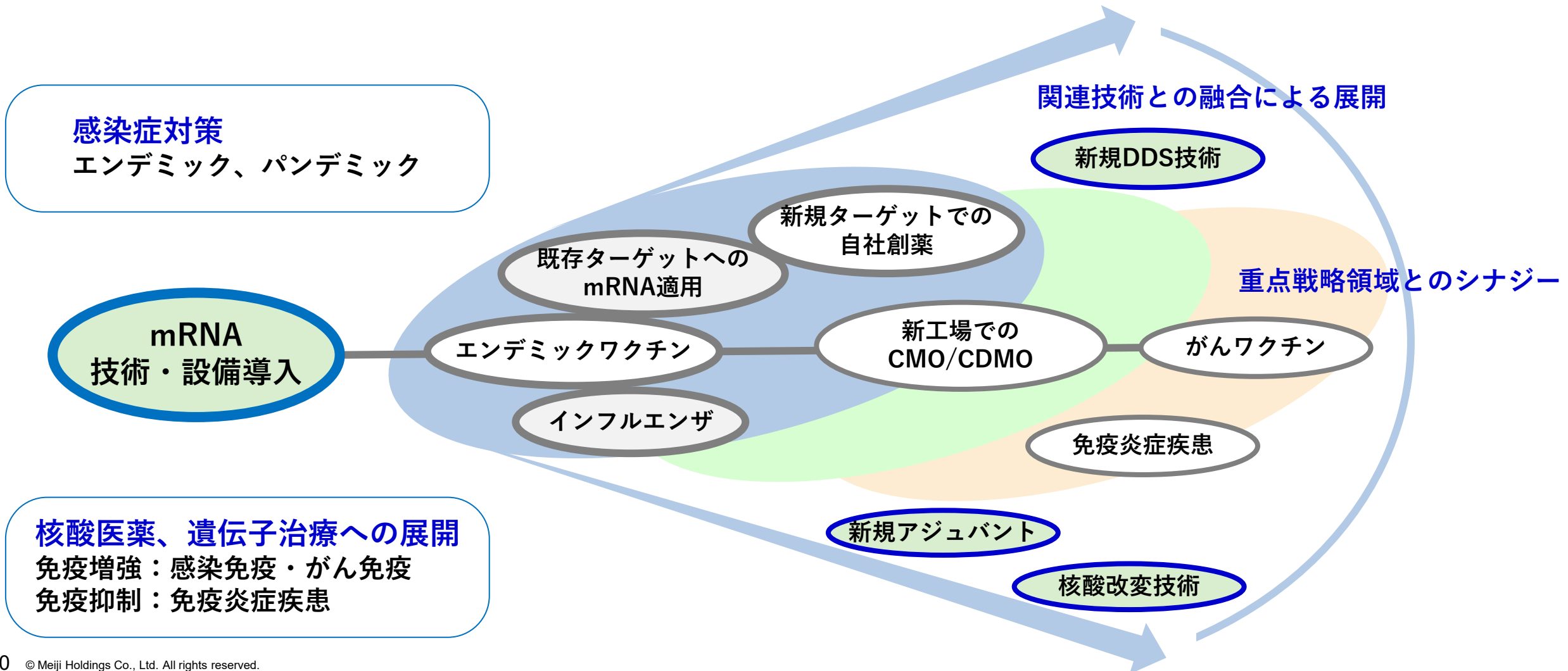


Figure: Geometric mean titres (with 95% CIs) of surrogate neutralising antibodies against the SARS-CoV-2 Wuhan-Hu-1 (A) and Omicron BA.4/5 (B) strains up to 6 months after vaccination with one booster dose of either ARCT-154 or BNT162b2  
 GMT ratios (95% CI) for ARCT-154:BNT162b2 are shown for days 1, 29, 91, and 181 and GMFR (95% CI) are shown for each group at days 29, 91 and 181. GMFR=geometric mean-fold rises over baseline. GMT=geometric mean titre.



# mRNA技術を起点とした研究開発構想

そのためには、新規モダリティとしてmRNA技術を起点とした核酸医薬、遺伝子治療に展開できる研究開発を進めていきます



## 核酸医薬、遺伝子治療への展開

免疫増強：感染免疫・がん免疫  
免疫抑制：免疫炎症疾患

# 国家戦略に基づくワクチンと抗菌薬原薬の生産拠点



KMバイオロジクス (熊本)

不活化ワクチン

ワクチンの製造拠点



Meiji Seika ファルマ (岐阜)

ペニシリン原薬 (6-APA)

ARCALIS、  
Meiji Seika ファルマ (福島)

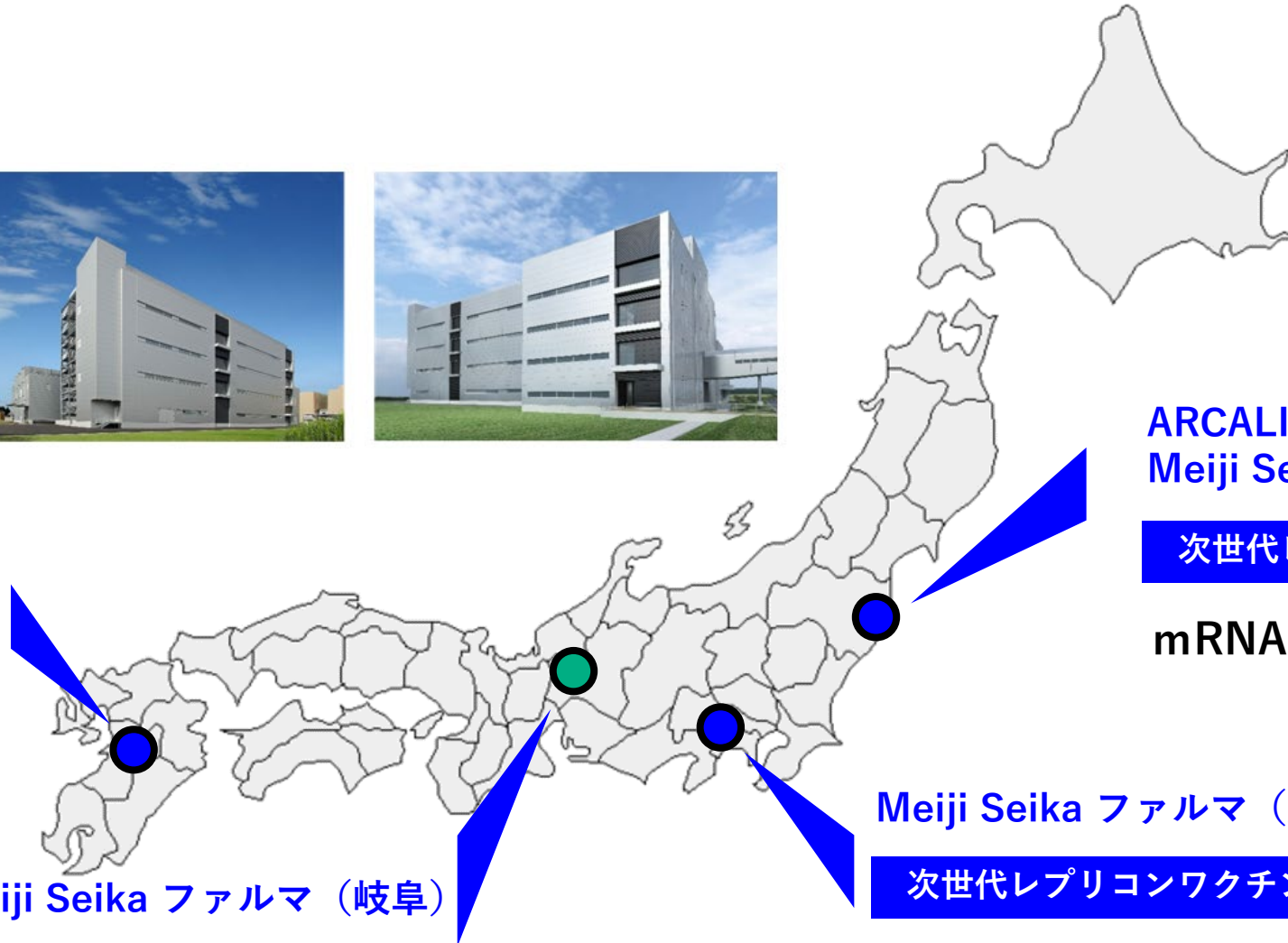
次世代レプリコンワクチン

mRNA医薬品の製造拠点

Meiji Seika ファルマ (足柄)

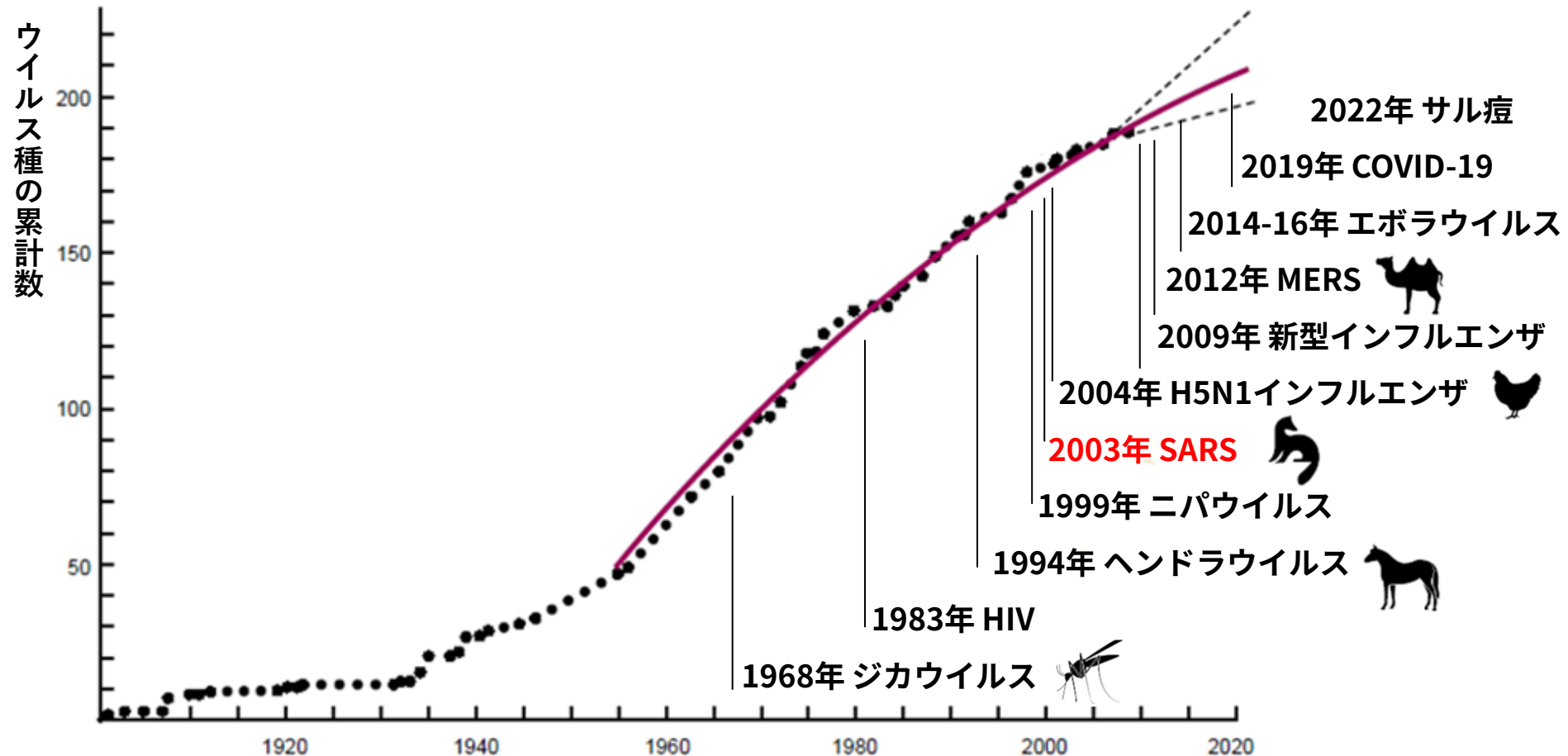
次世代レプリコンワクチン

mRNA医薬品の製造拠点



# 新興・再興感染症の脅威

2003年SARS発生以降、ヒトに感染するウイルス種が急増しており、Meiji SeikaファルマはKMバイオロジクスと一体となって新たなワクチンの研究開発に日夜取り組んでいます



# 国内で培った技術や知見を活かし海外での大きな成長に繋げる



- 海外売上高比率目標

2026ビジョン **20%**

## 2023年度 連結業績見通し

- 通期の売上高・営業利益は前期比増。当期純利益は減益の見通し

(億円)		23年度 上期実績		23年度 下期計画※		23年度 通期計画※	
			前年同期比		前年同期比		前期比
連結	売上高	5,460	+5.5% +285	5,524	+1.4% +78	10,985	+3.4% +363
	営業利益	444	+2.9% +12	355	+10.4% +33	800	+6.1% +46
	親会社株主に帰属する 当期純利益	279	△16.4% △54	230	△36.0% △129	510	△26.5% △184
食品	売上高	4,454	+5.9% 248	4,456	+0.1% +6	8,911	+2.9% +254
	営業利益	296	+1.2% +3	313	+18.1% +48	610	+9.3% +51
医薬品	売上高	1,008	+3.8% +36	1,072	+7.1% +71	2,081	+5.5% +108
	営業利益	159	+8.5% +12	60	△13.8% △9	220	+1.3% +2

# 本日の内容

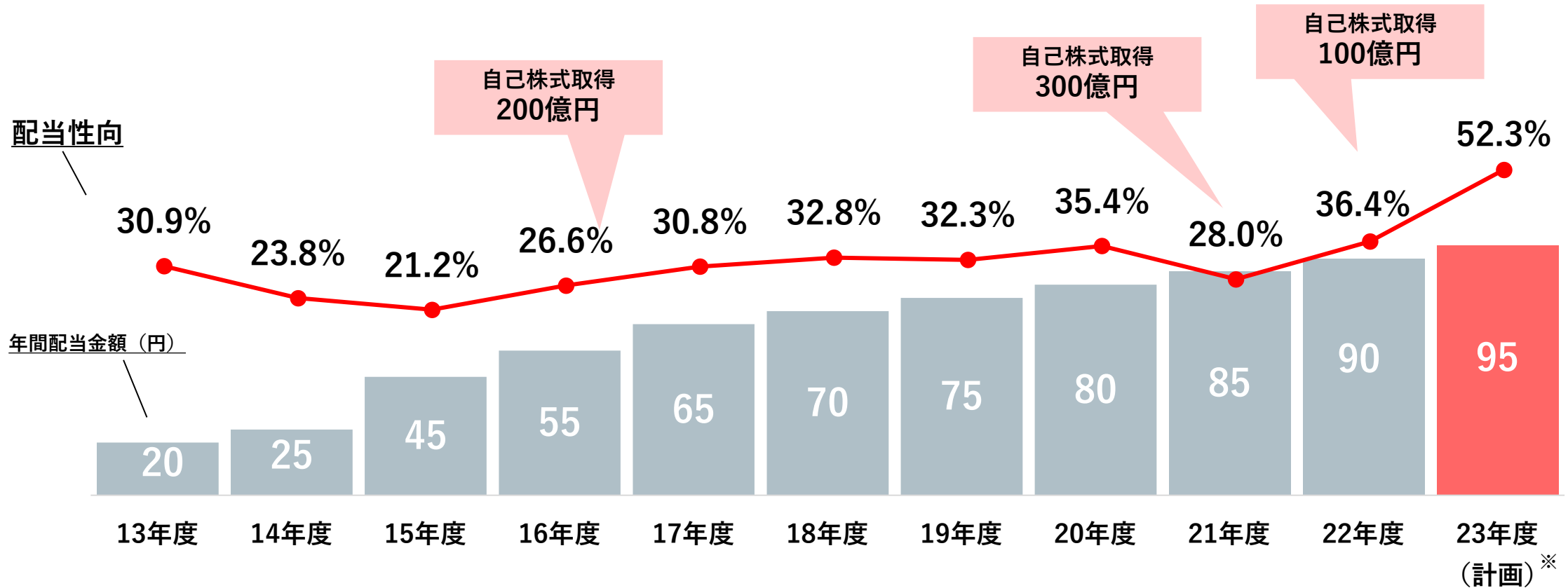
1. 基本情報

2. 事業戦略

3. 株主還元

# 株主還元の強化

## ● 2023年度も増配を計画、10期連続の増配





# 株式分割と優待制度の拡充

分割前 (2023年3月31日時点)		変更後 (2024年3月31日以降)	
ご所有株式数	優待品	ご所有株式数	優待品
—	—	<b>100</b> 株以上 (分割前50株以上)	<b>1,500</b> 円相当 <b>NEW!!</b>
100株以上	2,000円相当	<b>200</b> 株以上 (分割前100株以上)	<b>2,500</b> 円相当 <b>UP!!</b>
500株以上	3,500円相当	<b>1,000</b> 株以上 (分割前500株以上)	<b>5,500</b> 円相当 <b>UP!!</b>
1,000株以上	5,000円相当	—	—

- 100株以上の株式をご所有の株主さまを対象に、ご優待品（明治グループ製品詰め合わせ）を10月末ごろにお届け（基準日3月31日）
- 株主さまのご意志により、同等のグループ製品を福祉団体などへご寄贈いただくことも選択できます

※参考  
2023年3月期の優待品  
(500株以上3,500円相当)





# 株主さま向けイベントの実施

- 工場見学と食育セミナーの株主さま特別プログラムを実施

2023年12月21日 坂戸工場見学会



坂戸工場外観



工場見学の様子



ヨーグルトの食育セミナー

# 健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。